

注3

大学番号：263

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

帝塚山大学 経済経営学部 経済経営学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人帝塚山学園
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 事務局長 ^{タガ}多賀 ^{ヒサヒコ}久彦

電話番号 0742-48-9122

（夜間） 0742-48-9122

F A X 0742-48-9135

e-mail shomu@jimu.tezukayama-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

経済経営学部

<経済経営学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人帝塚山学園

(2) 大学名 帝塚山大学

(3) 大学の位置

〒631-8501
奈良県奈良市帝塚山七丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヨシカワ カツヒサ) 吉川 勝久 (平成27年4月)		
学長	(レンゲ カズミ) 蓮花 一己 (平成29年4月)		
学部長	(クマガイ レイコ) 熊谷 礼子 (平成30年4月)		
学科長等	(マツギ サトコ) 松木 智子 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経済経営学部 経済経営学科 学士(経済学)	経済学関係	4年	210人	— 年次人	840人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	210 (—) [—]								1.38倍	
志願者数	1425 (—) [65]									
受験者数	1243 (—) [61]									
合格者数	740 (—) [43]									
B 入学者数	290 (—) [35]									
入学定員超過率 B/A	1.38									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	290 [35] (-)	[] ()							
2年次	/		[] ()						
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	290 [35] (-)	[] ()							

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	290 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合 計	290 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数 (a)}}{\text{平成30年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{290} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数 (a)}}{\text{平成31年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数 (a)}}{\text{平成32年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数 (a)}}{\text{平成33年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経済経営学部 経済経営学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目 教養科目	統計・情報A(ビジネス数学)	1前・後	2								1
	統計・情報B(ビジネスデータ分析)	1後	2								1
	統計・情報C(リサーチ入門)	1前・後	2								2
	統計・情報D(コンピュータ・リテラシー)	1前	2			1					
	科学A(科学の歴史)	1前・後	2								1
	科学B(現代の科学技術)	1前・後	2								1
	科学C(生命科学)	1前・後	2								1
	科学D(環境科学)	1前・後	2								1
	科学E(行動科学)	1前・後	2								1
	歴史・人文A(世界近現代史)	1前・後	2								1
	歴史・人文B(日本近現代史)	1前・後	2								1
	歴史・人文C(哲学の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文D(芸術の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文E(文学の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文F(奈良学)	1前・後	2								1
	社会・文化A(社会学)	1前・後	2								2
	社会・文化B(現代の政治)	1前・後	2								1
	社会・文化C(情報と社会)	1前・後	2								1
	社会・文化D(異文化の理解)	1前・後	2								1
	社会・文化E(世界の宗教)	1前・後	2								1
社会・文化F(人権と社会)	1前・後	2								1	
社会・文化G(ポランティア論)	1前・後	2								1	
社会・文化H(地域と社会貢献)	1前・後	2								1	
社会・文化I(プロジェクト演習)	1後	2								1	
全学共通科目 言語リテラシー科目	日本語表現	1前・後	2								2
	英語A	1前・後	1								6
	英語B	1前・後	1								6
	英語C	1前・後	1								6
	英語D	1前・後	1								6
	英語E	1前・後	1								6
	英語F	2前・後	1								2
	英語G	2前・後	1								2
	英語H	2前・後	1								1
	大学英語入門	1前・後	2								2
	中国語Ⅰ	1前・後	2								2
	中国語Ⅱ	1前・後	2								2
	ハンブルⅠ	1前・後	2								3
	ハンブルⅡ	1前・後	2								3
フランス語Ⅰ	1前・後	2								2	
フランス語Ⅱ	1前・後	2								2	
スペイン語Ⅰ	1前・後	2								2	
スペイン語Ⅱ	1前・後	2								2	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目 教養科目	統計・情報A(ビジネス数学)	1前・後	2								1
	統計・情報B(ビジネスデータ分析)	1後	2								1
	統計・情報C(リサーチ入門)	1前・後	2								2
	統計・情報D(コンピュータ・リテラシー)	1前	2			1					
	科学A(科学の歴史)	1前・後	2								1
	科学B(現代の科学技術)	1前・後	2								1
	科学C(生命科学)	1前・後	2								1
	科学D(環境科学)	1前・後	2								1
	科学E(行動科学)	1前・後	2								1
	歴史・人文A(世界近現代史)	1前・後	2								1
	歴史・人文B(日本近現代史)	1前・後	2								1
	歴史・人文C(哲学の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文D(芸術の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文E(文学の世界)	1前・後	2								1
	歴史・人文F(奈良学)	1前・後	2								1
	社会・文化A(社会学)	1前・後	2								2
	社会・文化B(現代の政治)	1前・後	2								1
	社会・文化C(情報と社会)	1前・後	2								1
	社会・文化D(異文化の理解)	1前・後	2								1
	社会・文化E(世界の宗教)	1前・後	2								1
社会・文化F(人権と社会)	1前・後	2								1	
社会・文化G(ポランティア論)	1前・後	2								1	
社会・文化H(地域と社会貢献)	1前・後	2								1	
社会・文化I(プロジェクト演習)	1後	2								1	
全学共通科目 言語リテラシー科目	日本語表現	1前・後	2								4
	英語A	1前・後	1								7
	英語B	1前・後	1								9
	英語C	1前・後	1								7
	英語D	1前・後	1								9
	英語E	1前・後	1								6
	英語F	2前・後	1								2
	英語G	2前・後	1								2
	英語H	2前・後	1								1
	英語S	1後	1								1
	大学英語入門	1前・後	2								3
	中国語Ⅰ	1前・後	2								2
	中国語Ⅱ	1前・後	2								2
	ハンブルⅠ	1前・後	2								4
ハンブルⅡ	1前・後	2								3	
フランス語Ⅰ	1前・後	2								2	
フランス語Ⅱ	1前・後	2								2	
スペイン語Ⅰ	1前・後	2								2	
スペイン語Ⅱ	1前・後	2								2	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目I群 専門基礎科目	基礎演習Ⅰ	1前	2			9	7	1					
	基礎演習Ⅱ	1後	2			9	6	1					
	経済学概論	1前	2				2	1					
	経営学概論	1前	2			2	2						
	法学概論	1後	2									2	
	ミクロ経済学入門	1後	2			1	2						
	マクロ経済学入門	1後	2			2	1						
	簿記入門A	1前	2			2	2						
	簿記入門B	1前	2			2	2						
	ビジネスエコノミクス	1後	2			1							
IT概論	1後	2			1								
専門科目I群 専門基礎関連科目	経済・経営のための文章入門	1前	2										1
	経済・経営のための数学入門	1前	2				1						
	日本史概説A	2前	2										1
	日本史概説B	2後	2										1
	西洋史概説A	2前	2										1
	西洋史概説B	2後	2										1
	東洋史A	2前	2										1
	東洋史B	2後	2										1
	人文地理A	2前	2										1
	人文地理B	2後	2										1
	日本地誌A	2前	2										1
	日本地誌B	2後	2										1
	日本国憲法A	2前	2										1
	日本国憲法B	2後	2										1
	民法	2前	2										1
	商法	2後	2										1
	政治学	2後	2										1
	哲学概説A	2前	2										1
	哲学概説B	2後	2										1
	宗教学	2後	2										1
特殊講義(社会人基礎力A)	2前	2			1	1	1						
特殊講義(社会人基礎力B)	2後	2			1	1	1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門科目I群 専門基礎科目	基礎演習Ⅰ	1前	2							10	5	1			1
	基礎演習Ⅱ	1後	2							10	4	1			1
	経済学概論	1前	2							1	1				1
	経営学概論	1前	2							2	2				2
	法学概論	1後	2												
	ミクロ経済学入門	1後	2							2	1				
	マクロ経済学入門	1後	2							3					
	簿記入門A	1前	2							2	2				
	簿記入門B	1前	2							2	2				
	ビジネスエコノミクス	1後	2							1					
IT概論	1後	2							1						
専門科目I群 専門基礎関連科目	経済・経営のための文章入門	1前	2												1
	経済・経営のための数学入門	1前	2							1	1				
	日本史概説A	2前	2												1
	日本史概説B	2後	2												1
	西洋史概説A	2前	2												1
	西洋史概説B	2後	2												1
	東洋史A	2前	2												1
	東洋史B	2後	2												1
	人文地理A	2前	2												1
	人文地理B	2後	2												1
	日本地誌A	2前	2												1
	日本地誌B	2後	2												1
	日本国憲法A	2前	2												1
	日本国憲法B	2後	2												1
	民法	2前	2												1
	商法	2後	2												1
	政治学	2後	2												1
	哲学概説A	2前	2												1
	哲学概説B	2後	2												1
	宗教学	2後	2												1
特殊講義(社会人基礎力A)	2前	2				1	1	1							
特殊講義(社会人基礎力B)	2後	2				1	1	1							

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目Ⅱ群 経済科目群	くらしと金融	1前		2							1	
	くらしと税	1後		2							1	
	ミクロ経済学A	2前		2			1					
	ミクロ経済学B	2後		2			1					
	マクロ経済学A	2前		2			1					
	マクロ経済学B	2後		2			1					
	金融論	2前		2			1					
	金融システム論	2前		2			1					
	ファイナンス入門	2前		2							1	
	ファイナシャル・プランニング演習A	2前		2							1	
	ファイナシャル・プランニング演習B	2前		2							1	
	金融市場の現状	2後		2			1					
	日本経済史	2前		2							1	
	西洋経済史	2後		2							1	
	経済学史	2後		2							1	
	アジア経済論	2後		2							1	
	財政学	2前		2			1					
	地方財政学	2後		2			1					
	地域経済の現状A	2後		2				1				
	地域経済の現状B	2後		2				1				
	経済のためのデータ処理	2前		2							1	
	ゲーム理論	3前		2			1					
	経済心理学	3後		2			1					
	国際金融論	3後		2			1					
	証券市場論	3後		2			1					
	国際経済学	3前		2							1	
	国際経済事情	3前		2							1	
	金融・財政の現状	3前		2			1					
	経済政策論	3前		2			1					
	社会保障論	3後		2			1					
産業組織論	3前		2			1						
労働経済学	3前		2				1					
キャリアの経済学	3前		2				1					
交通経済学	3前		2							1		
都市経済学	3後		2					1				
地域経済学	3後		2					1				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目Ⅱ群 経済科目群	くらしと金融	1前		2								1	
	くらしと税	1後		2								1	
	ミクロ経済学A	2前		2				1					
	ミクロ経済学B	2後		2				1					
	マクロ経済学A	2前		2									1
	マクロ経済学B	2後		2									1
	金融論	2前		2				1					
	金融システム論	2前		2				1					
	ファイナンス入門	2前		2								1	
	ファイナシャル・プランニング演習A	2前		2								1	
	ファイナシャル・プランニング演習B	2前		2								1	
	金融市場の現状	2後		2				1					
	日本経済史	2前		2								1	
	西洋経済史	2後		2								1	
	経済学史	2後		2								1	
	アジア経済論	2後		2								1	
	財政学	2前		2				1					
	地方財政学	2後		2				1					
	地域経済の現状A	2後		2					1				
	地域経済の現状B	2後		2					1				
	経済のためのデータ処理	2前		2								1	
	ゲーム理論	3前		2				1					
	経済心理学	3後		2				1					
	国際金融論	3後		2				1					
	証券市場論	3後		2				1					
	国際経済学	3前		2								1	
	国際経済事情	3前		2								1	
	金融・財政の現状	3前		2				1					
	経済政策論	3前		2				1					
	社会保障論	3後		2				1					
産業組織論	3前		2				1						
労働経済学	3前		2					1					
キャリアの経済学	3前		2					1					
交通経済学	3前		2								1		
都市経済学	3後		2						1				
地域経済学	3後		2						1				

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目Ⅱ群 経営科目群	経営史	1後		2			1					
	日本経営史	2後		2			1					
	企業論	2前		2			1					
	中小企業経営論	3後		2							1	
	経営戦略論	2前		2			1					
	経営組織論	3前		2		1						
	経営管理論	2前		2			1					
	財務管理論	3前		2		1						
	生産管理論	3前		2							1	
	人的資源管理論	3後		2		2						
	マーケティング論	2前		2							1	
	消費者行動論	2後		2							1	
	国際経営論	3前		2							1	
	経営科学	2後		2							1	
	証券投資論	3後		2		1						
	観光ビジネス入門	1後		2		2						
	観光ビジネス論	2前		2		1						
	旅行管理者演習	2前		2							1	
	簿記論Ⅰ	1後		2		1	1					
	簿記論Ⅱ	2前		2			1					
	財務会計論	2前		2			1					
	原価計算論	2後		2		1	1					
	管理会計論	2後		2			1					
会計情報分析	2後		2			1						
簿記初級演習	1後		2			1						
経営のための情報科学	2後		2							1		
コンピュータプログラミング	2前		2		1							
マルチメディアとネットワーク	2前		2		1							
情報とキャリア	2後		2							1		
情報処理入門演習	2後		2		1							
専門科目Ⅱ群 共通科目群	統計学入門	2前		2							1	
	応用統計学	2後		2			1					
	専門導入演習	2前		2		8	7	1				1
	演習Ⅰ	2後		2		9	8					1
	演習Ⅱ	3通	4			9	8					1
	演習Ⅲ	4通		4		9	6					1
	キャリア演習A	2後		2				1				
	キャリア演習B	2前		2		2						
	キャリア演習C	2後		2			1					
	キャリア演習D	2後		2			1					
	キャリア演習E	2後		2			1					
	キャリア演習F	2前		2							1	
	特殊講義(アドバンスプログラムA)	3前		2				1				1
特殊講義(アドバンスプログラムB)	3後		2				1				1	
特殊講義(アドバンスプログラムC)	4前		2				1				1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目Ⅱ群 経営科目群	経営史	1後		2			1					
	日本経営史	2後		2			1					
	企業論	2前		2			1					
	中小企業経営論	3後		2							1	
	経営戦略論	2前		2			1					
	経営組織論	3前		2		1						
	経営管理論	2前		2			1					
	財務管理論	3前		2		1						
	生産管理論	3前		2							1	
	人的資源管理論	3後		2		2						
	マーケティング論	2前		2							1	
	消費者行動論	2後		2							1	
	国際経営論	3前		2							1	
	経営科学	2後		2							1	
	証券投資論	3後		2		1						
	観光ビジネス入門	1後		2		2						1
	観光ビジネス論	2前		2		1						
	旅行管理者演習	2前		2							1	
	簿記論Ⅰ	1後		2		1	1					
	簿記論Ⅱ	2前		2			1					
	財務会計論	2前		2			1					
	原価計算論	2後		2		1	1					
	管理会計論	2後		2			1					
会計情報分析	2後		2			1						
簿記初級演習	1後		2			1						
経営のための情報科学	2後		2							1		
コンピュータプログラミング	2前		2		1							
マルチメディアとネットワーク	2前		2		1							
情報とキャリア	2後		2							1		
情報処理入門演習	2後		2		1							
専門科目Ⅱ群 共通科目群	統計学入門	2前		2							1	
	応用統計学	2後		2			1					
	専門導入演習	2前		2		8	7	1				1
	演習Ⅰ	2後		2		9	8					1
	演習Ⅱ	3通	4			9	8					1
	演習Ⅲ	4通		4		9	6					1
	キャリア演習A	2後		2				1				
	キャリア演習B	2前		2		2						
	キャリア演習C	2後		2			1					
	キャリア演習D	2後		2			1					
	キャリア演習E	2後		2			1					
	キャリア演習F	2前		2							1	
	特殊講義(アドバンスプログラムA)	3前		2				1				1
特殊講義(アドバンスプログラムB)	3後		2				1				1	
特殊講義(アドバンスプログラムC)	4前		2				1				1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国人留学生適用科目	日本語理解(基礎)A	1前	1								1
	日本語理解(基礎)B	1後	1								1
	日本語理解(基礎)C	1前	1								1
	日本語理解(基礎)D	1後	1								1
	日本語理解(基礎)E	1前	1								1
	日本語理解(基礎)F	1後	1								1
	日本語理解(応用)A	1前	1								1
	日本語理解(応用)B	1後	1								1
	日本語理解(応用)C	1前	1								1
	日本語理解(応用)D	1後	1								1
	日本語理解(応用)E	1前	1								1
	日本語理解(応用)F	1後	1								1
	日本事情 A	1前	2								1
日本事情 B	1後	2								1	
海外短期語学研修受講学生適用科目	特殊講義(海外文化事情Ⅰ・アメリカ)	1通	4								1
	特殊講義(海外文化事情Ⅱ・アメリカ)	2通	4								1
	特殊講義(海外文化事情Ⅰ・スペイン)	1通	4								1
	特殊講義(海外文化事情Ⅱ・スペイン)	2通	4								1
	特殊講義(海外文化事情Ⅰ・中国)	1通	4								1
	特殊講義(海外文化事情Ⅱ・中国)	2通	4								1
	特殊講義(海外文化事情Ⅲ・ニュージーランド)	1通	4								1
	特殊講義(海外文化事情Ⅳ・ニュージーランド)	2通	4								1
キャリア形成支援科目	インターンシップⅠ	2後	2								1
	インターンシップⅡ	3前	2								1
	キャリアデザインⅠ	1後	2								1
	キャリアデザインⅡ	2前	2								1
	TF(Tezukayama Family)講座	1後	2								3
スポーツ関連科目	スポーツ科学A	1前	1								2
	スポーツ科学B	1後	1								2
	スポーツ科学C	2前	1								1
	スポーツ科学D	2後	1								1
スポーツ指導者適用関連科目	スポーツ医学	1前	2								1
	スポーツ栄養学	1後	2								1
	スポーツ心理学	1後	2								1
	スポーツ指導論	1後	2								1
	スポーツ社会学	1前	2								1
	スポーツマネジメント	1前	2								3
	スポーツトレーニング論	1前	2								1
	スポーツの歴史と文化	1前	2								1
	特別講義	1前・後	2								2

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	日本語理解(基礎)A	1前	1									2
	日本語理解(基礎)B	1後	1									2
	日本語理解(基礎)C	1前	1									3
	日本語理解(基礎)D	1後	1									3
	日本語理解(基礎)E	1前	1									1
	日本語理解(基礎)F	1後	1									1
	日本語理解(応用)A	1前	1									1
	日本語理解(応用)B	1後	1									1
	日本語理解(応用)C	1前	1									1
	日本語理解(応用)D	1後	1									1
	日本語理解(応用)E	1前	1									1
	日本語理解(応用)F	1後	1									1
	日本事情 A	1前	2									1
日本事情 B	1後	2									1	
日本事情 C	1前	2									3	
日本事情 D	1後	2									3	
海外短期語学研修受講学生適用科目	特殊講義(海外文化事情Ⅰ・アメリカ)	1通	4									1
	特殊講義(海外文化事情Ⅱ・アメリカ)	2通	4									1
	特殊講義(海外文化事情Ⅰ・スペイン)	1通	4									1
	特殊講義(海外文化事情Ⅱ・スペイン)	2通	4									1
	特殊講義(海外文化事情Ⅰ・中国)	1通	4									1
	特殊講義(海外文化事情Ⅱ・中国)	2通	4									1
	特殊講義(海外文化事情Ⅲ・ニュージーランド)	1通	4									1
	特殊講義(海外文化事情Ⅳ・ニュージーランド)	2通	4									1
キャリア形成支援科目	インターンシップⅠ	2後	2									1
	インターンシップⅡ	3前	2									1
	キャリアデザインⅠ	1後	2									1
	キャリアデザインⅡ	2前	2									1
	TF(Tezukayama Family)講座	1後	2									3
スポーツ関連科目	スポーツ科学A	1前	1									3
	スポーツ科学B	1後	1									3
	スポーツ科学C	2前	1									1
	スポーツ科学D	2後	1									1
スポーツ指導者適用関連科目	スポーツ医学	1前	2									1
	スポーツ栄養学	1後	2									1
	スポーツ心理学	1後	2									1
	スポーツ指導論	1後	2									1
	スポーツ社会学	1前	2									1
	スポーツマネジメント	1前	2									3
	スポーツトレーニング論	1前	2									1
	スポーツの歴史と文化	1前	2									1
	特別講義	1前・後	2									2

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容充実の理由により、「日本語表現」の担当者を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語A」の担当者を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語B」の担当者を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語C」の担当者を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語D」の担当者を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「英語S」を新規に追加。
- ・教育内容充実の理由により、「大学英語入門」の担当者を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「ハングルI」の担当者を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・担当者退職による変更、教授昇任等の理由により、「基礎演習I」の教員の配置を「教授9、准教授7、講師1」から「教授10、准教授5、講師1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更、教授昇任等の理由により、「基礎演習II」の教員の配置を「教授9、准教授6、講師1」から「教授10、准教授4、講師1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「経済学概論」の教員の配置を「准教授2、講師1」から「准教授1、講師1、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の教員昇任の理由により、「ミクロ経済学入門」の専任教員の配置を「教授1、准教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「マクロ経済学入門」の専任教員の配置を「教授2、准教授1」から「教授3」に変更。
- ・教育内容充実のため担当者追加の理由により、「経済・経営のための数学入門」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「マクロ経済学A」の教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「マクロ経済学B」の教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・担当教員の教員昇任の理由により、「地域経済の現状A」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の教員昇任の理由により、「地域経済の現状B」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の教員昇任の理由により、「労働経済学」の教員の専任配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の教員昇任の理由により、「キャリアの経済学」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当者退職による変更の理由により、「専門導入演習」の専任教員の配置を「教授8、准教授7、講師1」から「教授8、准教授6、講師1」に変更。
- ・担当者退職による変更、教授昇任等の理由により、「演習I」の教員の配置を「教授9、准教授8」から「教授10、准教授6、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更、教授昇任等の理由により、「演習II」の教員の配置を「教授9、准教授8」から「教授10、准教授6、兼任・兼任1」に変更。
- ・担当者退職による変更、教授昇任等の理由により、「演習III」の教員の配置を「教授9、准教授6」から「教授10、准教授4、兼任・兼任1」に変更。
- ・教育内容充実のため担当者追加の理由により、「観光ビジネス入門」の専任教員の配置を「教授2」から「教授2、兼任1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解（基礎）A」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解（基礎）B」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解（基礎）C」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本語理解（基礎）D」の担当者を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、授業科目「日本事情C」「日本事情D」を新規に追加。
- ・教育内容充実の理由により、「スポーツ科学A」「スポーツ科学B」の担当者を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
9 科目	187 科目	0 科目	196 科目	9 科目	190 科目	0 科目	199 科目	
				[]	[3科目]	[]	[3科目]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2				該当なし		
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2				該当なし		
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{196} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	・帝塚山中学校 収容定員 960人 運動場基準面積 8,400㎡ ・帝塚山高等学校 収容定員1,350人 運動場基準面積 8,400㎡			
	校舎敷地	57,952.58㎡	1,367.25㎡	19,260.07㎡	78,579.90㎡				
	運動場用地	135,854.66㎡	— ㎡	28,907.28㎡	164,761.94㎡				
	小 計	193,807.24㎡	1,367.25㎡	48,167.35㎡	243,341.84㎡				
	そ の 他	3,850.73㎡	— ㎡	2,450.93㎡	6,301.66㎡				
合 計	197,657.97㎡	1,367.25㎡	50,618.28㎡	249,643.50㎡					
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	・帝塚山中学校 収容定員 960人 校舎基準面積 5,160㎡ ・帝塚山高等学校 収容定員1,350人 校舎基準面積 6,840㎡				
	(56,649.28㎡)	(3,658.24㎡)	(25,818.63㎡)	(86,126.15㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	74室	78室	58室	25室 (補助職員6人)	1室 (補助職員一人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	経済経営学部 経済経営学科		47 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能のため、大学 全体の数 図書の増は受入分を加算したため。 (30) 視聴覚の減は2除冊した分を減算 したため。(30) 機械・器具の減は 除却△396購入+73 による(30) 標本の減は 除却△1による(30)	
		冊	種	〔うち外国書〕					
	経済経営学部 経済経営学科	640,000[125,800] 626,283[124,986] (624,000[124,600])	5,129[1,319] 5,176[1,311] 5,129[1,319] 5,176[1,311]	(59 [0]) (-58 [0]) (59 [0]) (-58 [0])	11,540 (10,719) (11,140)	11,363 11,686 (11,363) (11,686)	231 232 (231) (232)		
	計	640,000[125,800] 626,283[124,986] (624,000[124,600])	5,129[1,319] 5,176[1,311] 5,129[1,319] 5,176[1,311]	(59 [0]) (-58 [0]) (59 [0]) (-58 [0])	11,540 (10,719) (11,140)	11,363 11,686 (11,363) (11,686)	231 232 (231) (232)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		座席数の増加は閲覧机 の移動によるもの(30)		
	4,810.30㎡		565 席 553 席		551,500 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体	
	1,638.90㎡		野球・サッカー場1面、陸上競技・ラグビー場1面、 テニスコート5面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	学部単位での特定が不 能な為、大学全体の数 で回答
		教員1人当り研究費等	実験系 480千円 非実験系 450千円	実験系 480千円 非実験系 450千円	図書購入費	2,490千円	2,490千円	2,490千円	
	共同研究費等	3,660千円	3,660千円	設備購入費	7,960千円	7,960千円	7,960千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	<学生1人当り納付金> 平成30年4月1日適用 入学金：180千円 授業料：860千円 教育充実費：140千円	
		1,180千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	帝塚山大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	人	人		倍			
文学部						0.83		奈良県奈良市帝塚山七丁目1番1号	文学部文化創造学科 ・平成30年より学生募集停止
日本文化学科	4	110	—	440	学士（文学）	0.83	平成11年度		
文化創造学科	4	—	—	—	学士（文学）	—	平成26年度		
経済学部						—		同上	・平成30年4月より学生募集 停止
経済学科	4	—	—	—	学士（経済学）	—	昭和62年度		
経営学部						—		同上	・平成30年4月より学生募集 停止
経営学科	4	—	—	—	学士（経営学）	—	平成10年度		
経済経営学部						1.38		同上	経済経営学部経済経営学科（届出設 置） （平成29年4月届出）
経済経営学科	4	210	—	210	学士（経済学）	1.38	平成30年度		
法学部						1.09		同上	・平成27年4月より入学定員 を変更 160 → 95（△65）
法学科	4	95	—	445	学士（法学）	1.09	平成22年度		
心理学部						1.22		奈良県奈良市学園南三丁目1番3号	
心理学科	4	100	—	400	学士（心理）	1.22	平成16年度		
現代生活学部						1.16		同上	
食物栄養学科	4	120	—	480	学士（栄養）	1.06	平成16年度		
居住空間デザイン学 科	4	70	—	280	学士（生活科学）	1.34	平成16年度		
こども学科	4	100	—	400	学士（こども学）	1.08	平成21年度		
経済学研究科経済学専攻								奈良県奈良市帝塚山七丁目1番1号	・平成30年4月より学生募集 停止 ・平成30年4月より学生募集 停止
博士前期課程	2	—	—	20	修士（経済学）	—	平成3年度		
博士後期課程	3	—	—	9	博士（経済学）	—	平成5年度		
人文科学研究科日本伝統文化専攻								奈良県奈良市帝塚山七丁目1番1号	
博士前期課程	2	8	—	16	修士（文学）	0.28	平成8年度		
博士後期課程	3	2	—	6	博士（文学）	0.37	平成10年度		
心理科学研究科心理学専攻								奈良県奈良市学園南三丁目1番3号	・平成30年4月より入学定員 を変更 17 → 20（+3）
博士前期課程	2	20	—	37	修士（心理学）	0.64	平成24年度		
博士後期課程	3	3	—	9	博士（心理学）	0.16	平成24年度		

(注意)課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入して

(注意)学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<経済経営学部 経済経営学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	益田 照雄 (62) <平成30年4月> 統計学入門 経営科学 経営のための情報科学
兼任	講師	益田 照雄 (62) <平成32年4月> 統計学入門 経営科学 経営のための情報科学
専	教授	中嶋 航一 (62) <平成30年4月> 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ アジア経済論
兼任	講師	中嶋 航一 (62) <平成33年4月> アジア経済論
専	教授	田中 雅子 (56) <平成30年4月> 基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 演習Ⅰ キャリア演習D 経営組織論 演習Ⅱ 人的資源管理論 演習Ⅲ
専	教授	日置 慎治 (54) <平成30年4月> 統計・情報D(コンピュータ・リテラシー) 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ IT概論 観光ビジネス入門 コンピュータプログラミング
専	教授	向井 篤弘 (53) <平成30年4月> 簿記入門A 簿記入門B 特殊講義(社会人基礎力A) 会計情報分析 特殊講義(社会人基礎力B)
専	教授	金(植田) 東吉 (51) <平成30年4月> 基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 キャリア演習B 演習Ⅰ 財務管理論 演習Ⅱ 証券投資論 演習Ⅲ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	益田 照雄 (63) <平成30年4月> 経済・経営のための 数学入門 統計学入門 経営科学 経営のための情報科学
兼任	講師	益田 照雄 (63) <平成32年4月> 統計学入門 経営科学 経営のための情報科学
専	教授	中嶋 航一 (63) <平成30年4月> 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ アジア経済論
兼任	講師	中嶋 航一 (63) <平成33年4月> アジア経済論
専	教授	田中 雅子 (57) <平成30年4月> 基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 演習Ⅰ キャリア演習D 経営組織論 演習Ⅱ 人的資源管理論 演習Ⅲ
専	教授	日置 慎治 (55) <平成30年4月> 統計・情報D(コンピュータ・リテラシー) 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ IT概論 観光ビジネス入門 コンピュータプログラミング
専	教授	向井 篤弘 (54) <平成30年4月> 簿記入門A 簿記入門B 特殊講義(社会人基礎力A) 会計情報分析 特殊講義(社会人基礎力B)
専	教授	金(植田) 東吉 (52) <平成30年4月> 基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 キャリア演習B 演習Ⅰ 財務管理論 演習Ⅱ 証券投資論 演習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	高橋 泰秀 (50) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ マクロ経済学入門 専門導入演習 演習Ⅰ 経済政策論 演習Ⅱ 社会保障論 演習Ⅲ
専	教授	姜 聖淑 (48) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 観光ビジネス入門 観光ビジネス論 専門導入演習 演習Ⅰ キャリア演習E 演習Ⅱ 人的資源管理論 演習Ⅲ
専	教授	熊谷 礼子 (48) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 ビジネスエコノミクス 専門導入演習 演習Ⅰ 金融市場の現状 産業組織論 金融・財政の現状 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	教授	松木 (浦西) 智子 (47) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 管理会計論 原価計算論 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	教授	志馬 祥紀 (46) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 金融論 金融システム論 キャリア演習B 演習Ⅰ 演習Ⅱ 国際金融論 証券市場論 演習Ⅲ
専	教授	竹本 亨 (45) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ マクロ経済学入門 財政学 専門導入演習 地方財政学 演習Ⅰ ゲーム理論 演習Ⅱ 経済心理学 演習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	高橋 泰秀 (51) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ マクロ経済学入門 専門導入演習 演習Ⅰ 経済政策論 演習Ⅱ 社会保障論 演習Ⅲ
専	教授	姜 聖淑 (49) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 観光ビジネス入門 観光ビジネス論 専門導入演習 演習Ⅰ キャリア演習E 演習Ⅱ 人的資源管理論 演習Ⅲ
専	教授	熊谷 礼子 (49) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 ビジネスエコノミクス 専門導入演習 演習Ⅰ 金融市場の現状 産業組織論 金融・財政の現状 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	教授	松木 (浦西) 智子 (48) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 管理会計論 原価計算論 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	教授	志馬 祥紀 (47) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 金融論 金融システム論 キャリア演習B 演習Ⅰ 演習Ⅱ 国際金融論 証券市場論 演習Ⅲ マクロ経済入門
専	教授	竹本 亨 (46) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ マクロ経済学入門 財政学 専門導入演習 地方財政学 演習Ⅰ ゲーム理論 演習Ⅱ 経済心理学 演習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	近藤(太田) 江美 (44) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 基礎演習Ⅱ 簿記初級演習 財務会計論 専門導入演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	准教授	吉村 泰志 (43) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 経営戦略論 経営管理論 専門導入演習 演習Ⅰ キャリア演習C 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	准教授	水谷 寛 (42) <平成30年4月>
		簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 専門導入演習 原価計算論 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	准教授	富田 新 (39) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 経営史 専門導入演習 企業論 日本経営史 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	准教授	蟹 雅代 (37) <平成30年4月>
		経済・経営のための 数学入門 基礎演習Ⅰ 経済学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 演習Ⅰ 応用統計学 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	准教授	井川(平尾) 静恵 (38) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 地域経済の現状A 【隔年】 地域経済の現状B 【隔年】 演習Ⅰ 労働経済学 キャリアの経済学 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	准教授	寺地 祐介 (36) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 ミクロ経済学A 特殊講義(社会人基 礎力A) 専門導入演習 ミクロ経済学B 演習Ⅰ 特殊講義(社会人基 礎力B) 演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	近藤(太田) 江美 (45) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 基礎演習Ⅱ 簿記初級演習 財務会計論 専門導入演習 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	准教授	吉村 泰志 (44) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 経営戦略論 経営管理論 専門導入演習 演習Ⅰ キャリア演習C 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	准教授	水谷 寛 (43) <平成30年4月>
		簿記入門A 簿記入門B 簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 専門導入演習 原価計算論 演習Ⅰ 演習Ⅱ
専	准教授	富田 新 (40) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 経営学概論 基礎演習Ⅱ 経営史 専門導入演習 企業論 日本経営史 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	准教授	蟹 雅代 (38) <平成30年4月>
		経済・経営のための 数学入門 基礎演習Ⅰ 経済学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 演習Ⅰ 応用統計学 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	教授	井川(平尾) 静恵 (39) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 地域経済の現状A 【隔年】 地域経済の現状B 【隔年】 演習Ⅰ 労働経済学 キャリアの経済学 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	准教授	寺地 祐介 (37) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ミクロ経済学入門 ミクロ経済学A 特殊講義(社会人基 礎力A) 専門導入演習 ミクロ経済学B 演習Ⅰ 特殊講義(社会人基 礎力B) 演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	川岸 岳人 (34) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 経済学概論 マクロ経済学入門 専門導入演習 マクロ経済学A マクロ経済学B 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	講師	荒木 大恵 (33) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 経済学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 特殊講義(社会人基礎力A) キャリア演習A 特殊講義(社会人基礎力B) 特殊講義(アドバンスプログラムA) 特殊講義(アドバンスプログラムB) 地域経済学 都市経済学 特殊講義(アドバンスプログラムC)
兼任	教授	RODNEY ARTHUR DUNHAM (63) <平成30年4月>
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語G
兼任	講師	RODNEY ARTHUR DUNHAM (63) <平成31年4月>
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語G
兼任	教授	池田 真寸子 (59) <平成30年4月>
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 大学英語入門 英語H
兼任	教授	北本 晃治 (59) <平成30年4月>
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語F 英語G
兼任	教授	MARC JOHN SHEFFNER (59) <平成30年4月>
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語F
兼任	教授	川口 洋 (57) <平成30年4月>
		人文地理A 日本地理A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	川岸 岳人 (35) <平成30年4月>
		経済学概論 専門導入演習 マクロ経済学A マクロ経済学B 演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ
専	講師	荒木 大恵 (34) <平成30年4月>
		基礎演習Ⅰ 経済学概論 基礎演習Ⅱ 専門導入演習 特殊講義(社会人基礎力A) キャリア演習A 特殊講義(社会人基礎力B) 特殊講義(アドバンスプログラムA) 特殊講義(アドバンスプログラムB) 地域経済学 都市経済学 特殊講義(アドバンスプログラムC)
兼任	教授	RODNEY ARTHUR DUNHAM (64) <平成30年4月>
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語G
兼任	講師	RODNEY ARTHUR DUNHAM (64) <平成31年4月>
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語G
兼任	教授	池田 真寸子 (60) <平成30年4月>
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 大学英語入門 英語H
兼任	教授	北本 晃治 (60) <平成30年4月>
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語F 英語G
兼任	教授	MARC JOHN SHEFFNER (60) <平成30年4月>
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語F
兼任	教授	川口 洋 (58) <平成30年4月>
		人文地理A 日本地理A

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
		人文地理B 日本地誌B
兼任	教授	大西 智之 (57) <平成30年4月>
		日本語理解(基礎) C 日本語理解(基礎) D 日本語表現 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 特殊講義(海外文化 事情Ⅰ・中国) 特殊講義(海外文化 事情Ⅱ・中国)
兼任	教授	鷺森 浩幸 (56) <平成30年4月>
		日本史概説A
兼任	教授	佐野 隆 (56) <平成30年4月>
		法学概論
兼任	教授	岩井 洋 (54) <平成30年4月>
		統計・情報C(リ サーチ入門) 社会・文化Ⅰ(プロ ジェクト演習) インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	教授	福本 あおい(葵) (52) <平成30年4月>
		商法
兼任	教授	末吉 洋文 (43) <平成30年4月>
		スポーツマネジメン ト
兼任	准教授	浦井 善宏 (61) <平成30年4月>
		スポーツ科学A スポーツ科学B スポーツ科学C スポーツ科学D スポーツ社会学 スポーツの歴史と文 化

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名
		人文地理B 日本地誌B
兼任	教授	大西 智之 (58) <平成30年4月>
		日本語理解(基礎) C 日本語理解(基礎) D 日本語表現 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 特殊講義(海外文化 事情Ⅰ・中国) 特殊講義(海外文化 事情Ⅱ・中国) 日本語表現
兼任	教授	鷺森 浩幸 (57) <平成30年4月>
		日本史概説A
兼任	教授	佐野 隆 (57) <平成30年4月>
		法学概論
兼任	教授	岩井 洋 (55) <平成30年4月>
		統計・情報C(リ サーチ入門) インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	講師	奥村 寛幸 (45) <平成30年4月>
		社会・文化Ⅰ(プロ ジェクト演習)
兼任	教授	福本 あおい(葵) (53) <平成30年4月>
		商法
兼任	教授	末吉 洋文 (44) <平成30年4月>
		スポーツマネジメン ト
兼任	准教授	浦井 善宏 (62) <平成30年4月>
		スポーツマネジメン ト スポーツ科学A スポーツ科学B スポーツ科学C スポーツ科学D スポーツ社会学 スポーツの歴史と文 化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	准教授	川添 一郎 (49) <平成30年4月> 日本語理解(基礎)A 日本語理解(基礎)E 日本語理解(応用)A 日本語理解(応用)C 日本語理解(応用)E 日本事情A 日本語理解(基礎)B 日本語理解(基礎)F 日本語理解(応用)B 日本語理解(応用)D 日本語理解(応用)F 日本事情B
兼任	准教授	馬場(西村) 文 (48) <平成30年4月> 法学概論
兼任	准教授	谷 美奈 (48) <平成30年4月> 日本語表現特別講義 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ
兼任	准教授	河口 充勇 (44) <平成30年4月> 統計・情報C(リサーチ入門) 社会・文化A(社会学)
兼任	准教授	小谷(重藤) 早稚 江 (43) <平成30年4月> 英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 特別講義 特殊講義(海外文化事情Ⅰ・ニュージーランド) 特殊講義(海外文化事情Ⅱ・ニュージーランド)
兼任	准教授	西尾 元伸 (41) <平成30年4月> 歴史・文化E(文学の世界)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	准教授	川添 一郎 (50) <平成30年4月> 日本語理解(基礎)A 日本語理解(基礎)E 日本語理解(応用)A 日本語理解(応用)C 日本語理解(応用)E 日本事情A 日本事情C 日本語理解(基礎)B 日本語理解(基礎)F 日本語理解(応用)B 日本語理解(応用)D 日本語理解(応用)F 日本事情B 日本事情D
兼任	准教授	馬場(西村) 文 (49) <平成30年4月> 法学概論
兼任	准教授	谷 美奈 (49) <平成30年4月> 日本語表現特別講義 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ
兼任	教授	河口 充勇 (45) <平成30年4月> 統計・情報C(リサーチ入門) 社会・文化A(社会学)
兼任	准教授	小谷(重藤) 早稚 江 (44) <平成30年4月> 英語A 英語B 英語C 英語D 英語E 英語S 特別講義 特殊講義(海外文化事情Ⅰ・ニュージーランド) 特殊講義(海外文化事情Ⅱ・ニュージーランド)
兼任	講師	中谷 亮己 (72) <平成30年4月> 歴史・文化E(文学の世界)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	奥村 玲香 (40) <平成30年4月>
		英語 A 英語 B 英語 C 英語 D 英語 E 大学英語入門 特殊講義(海外文化事情Ⅰ・アメリカ) 特殊講義(海外文化事情Ⅱ・アメリカ)
兼任	講師	落合 史生 (70) <平成30年4月>
		科学D(環境科学)
兼任	講師	中嶋 和久 (69) <平成30年4月>
		歴史・人文C(哲学の世界)
兼任	講師	梶本 元信 (68) <平成30年4月>
		西洋経済史 経済学史 交通経済学
兼任	講師	重本 和泰 (67) <平成30年4月>
		科学B(現代の科学技術) 経済のためのデータ処理
兼任	講師	豊永 智恵子 (66) <平成30年4月>
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	王(文) 冬蘭 (65) <平成30年4月>
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	奥村 玲香 (41) <平成30年4月>
		英語 A 英語 B 英語 C 英語 D 英語 E 大学英語入門 特殊講義(海外文化事情Ⅰ・アメリカ) 特殊講義(海外文化事情Ⅱ・アメリカ)
兼任	講師	落合 史生 (71) <平成30年4月>
		科学D(環境科学)
兼任	講師	中嶋 和久 (70) <平成30年4月>
		歴史・人文C(哲学の世界)
兼任	講師	梶本 元信 (69) <平成30年4月>
		西洋経済史 経済学史 交通経済学
兼任	講師	重本 和泰 (68) <平成30年4月>
		科学B(現代の科学技術) 経済のためのデータ処理
兼任	講師	豊永 智恵子 (67) <平成30年4月>
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	王(文) 冬蘭 (66) <平成30年4月>
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	鎌田 勇雄 (65) <平成30年4月>
		統計・情報A (ビジネス数学)
兼任	講師	平山 篤子 (65) <平成30年4月>
		社会・文化D (異文化の理解) スペイン語 I スペイン語 II 特殊講義 (海外文化事情 I・スペイン) 特殊講義 (海外文化事情 II・スペイン)
兼任	講師	伊原 豊實 (64) <平成30年4月>
		くらしと税
兼任	講師	甲斐 弓子 (64) <平成30年4月>
		歴史・文化F (奈良学)
兼任	講師	中路 (善田) のぶ代 (64) <平成30年4月>
		歴史・人文D (芸術の世界)
兼任	講師	菅 万希子 (63) <平成31年4月>
		消費者行動論
兼任	講師	浅川 (山口) 千尋 (62) <平成31年4月>
		日本国憲法A 日本国憲法B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	鎌田 勇雄 (66) <平成30年4月>
		統計・情報A (ビジネス数学)
兼任	講師	平山 篤子 (66) <平成30年4月>
		社会・文化D (異文化の理解) スペイン語 I スペイン語 II 特殊講義 (海外文化事情 I・スペイン) 特殊講義 (海外文化事情 II・スペイン)
兼任	講師	伊原 豊實 (65) <平成30年4月>
		くらしと税
兼任	講師	甲斐 弓子 (65) <平成30年4月>
		歴史・文化F (奈良学)
兼任	講師	中路 (善田) のぶ代 (65) <平成30年4月>
		歴史・人文D (芸術の世界)
兼任	講師	菅 万希子 (64) <平成31年4月>
		消費者行動論 観光ビジネス入門
兼任	講師	浅川 (山口) 千尋 (63) <平成31年4月>
		日本国憲法A 日本国憲法B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	丸山 政行 (59) <平成31年4月>
		旅行管理者演習
兼任	講師	山口 智一 (58) <平成31年4月>
		ファイナンシャル・ プランニング演習A ファイナンシャル・ プランニング演習B
兼任	講師	藤本 武司 (56) <平成30年4月>
		フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	久富 健治 (54) <平成32年4月>
		国際経営論 中小企業経営論
兼任	講師	黄 鎮杰 (54) <平成30年4月>
		ハングル I ハングル II
兼任	講師	井戸田 博樹 (52) <平成31年4月>
		情報とキャリア
兼任	講師	高藤 三千代 (52) <平成30年4月>
		社会・文化 A (社会学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	丸山 政行 (60) <平成31年4月>
		旅行管理者演習
兼任	講師	山口 智一 (59) <平成31年4月>
		ファイナンシャル・ プランニング演習A ファイナンシャル・ プランニング演習B
兼任	講師	藤本 武司 (57) <平成30年4月>
		フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	久富 健治 (55) <平成32年4月>
		国際経営論 中小企業経営論
兼任	講師	黄 鎮杰 (55) <平成30年4月>
		ハングル I ハングル II
兼任	講師	井戸田 博樹 (53) <平成31年4月>
		情報とキャリア
兼任	講師	高藤 三千代 (53) <平成30年4月>
		社会・文化 A (社会学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	都留 浩子 (51) <平成30年4月>
		科学C(生命科学)
兼任	講師	野村 和代 (50) <平成30年4月>
		経済・経営のための 文章入門
兼任	講師	塩 卓悟 (48) <平成31年4月>
		東洋史A 東洋史B
兼任	講師	鈴木 紀子 (48) <平成30年4月>
		統計・情報B(ビジ ネスデータ分析)
兼任	講師	濱千代 早由美 (47) <平成30年4月>
		社会・文化C(情報 と社会) 社会・文化E(世界 の宗教)
兼任	講師	中村 彰宏 (46) <平成31年4月>
		キャリア演習F

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	都留 浩子 (52) <平成30年4月>
		科学C(生命科学)
兼任	講師	野村 和代 (51) <平成30年4月>
		経済・経営のための 文章入門
兼任	講師	塩 卓悟 (49) <平成31年4月>
		東洋史A 東洋史B
兼任	講師	
兼任	講師	渡辺 秀行 (52) <平成30年4月>
		統計・情報B(ビジ ネスデータ分析)
兼任	講師	濱千代 早由美 (48) <平成30年4月>
		社会・文化C(情報 と社会) 社会・文化E(世界 の宗教) 日本語表現
兼任	講師	中村 彰宏 (47) <平成31年4月>
		キャリア演習F

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	齊藤 宗之 (44) <平成32年4月>
		国際経済学 国際経済事情
兼任	講師	宮脇 裕貴 (46) <平成30年4月>
		社会・文化G (ポランティア論) 社会・文化H (地域と社会貢献)
兼任	講師	宮田 昌明 (45) <平成31年4月>
		日本史概説B
兼任	講師	頼 順子 (46) <平成31年4月>
		西洋史概説A
兼任	講師	伊藤 敏雄 (44) <平成31年4月>
		日本経済史
兼任	講師	嵩原 英喜 (43) <平成31年4月>
		哲学概説A 哲学概説B
兼任	講師	林 志煥 (44) <平成30年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	齊藤 宗之 (45) <平成32年4月>
		国際経済学 国際経済事情
兼任	講師	宮脇 裕貴 (47) <平成30年4月>
		社会・文化H (地域と社会貢献)
兼任	講師	反田 博俊 (64) <平成30年4月>
		社会・文化G (ポランティア論)
兼任	講師	宮田 昌明 (46) <平成31年4月>
		日本史概説B
兼任	講師	頼 順子 (47) <平成31年4月>
		西洋史概説A
兼任	講師	伊藤 敏雄 (45) <平成31年4月>
		日本経済史
兼任	講師	嵩原 英喜 (44) <平成31年4月>
		哲学概説A 哲学概説B
兼任	講師	林 志煥 (45) <平成30年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		ハングルⅠ ハングルⅡ
兼任	講師	SERGIO KENJI SONAN (44) <平成30年4月> スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	講師	片岡 佐知子 (44) <平成30年4月> 科学A(科学の歴史)
兼任	講師	森 由香 (42) <平成30年4月> 社会・文化F(人権と社会) スポーツマネジメント
兼任	講師	松岡(藤井) 朋子 (42) <平成30年4月> くらしと金融 ファイナンス入門
兼任	講師	巖 賢娥 (41) <平成30年4月> ハングルⅠ ハングルⅡ
兼任	講師	小島 吉之 (41) <平成30年4月> 歴史・人文B(日本近現代史)
兼任	講師	関 誠 (40) <平成30年4月> 歴史・人文A(世界近現代史) 社会・文化B(現代の政治) 政治学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		ハングルⅠ ハングルⅡ
兼任	講師	SERGIO KENJI SONAN (45) <平成30年4月> スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	講師	片岡 佐知子 (45) <平成30年4月> 科学A(科学の歴史)
兼任	講師	森 由香 (43) <平成30年4月> 社会・文化F(人権と社会) スポーツマネジメント
兼任	講師	松岡(藤井) 朋子 (43) <平成30年4月> くらしと金融 ファイナンス入門
兼任	講師	巖 賢娥 (42) <平成30年4月> ハングルⅠ ハングルⅡ
兼任	講師	小島 吉之 (42) <平成30年4月> 歴史・人文B(日本近現代史)
兼任	准教授	関 誠 (41) <平成30年4月> 歴史・人文A(世界近現代史) 社会・文化B(現代の政治) 政治学 日本事情C 日本事情D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	門浦 智 (40) <平成30年4月>
		TF (Tezukayama Family) 講座
兼任	講師	小柴 昌也 (40) <平成30年4月>
		TF (Tezukayama Family) 講座 民法
兼任	講師	関岡 有季 (40) <平成30年4月>
		スポーツ科学A スポーツ科学B スポーツ心理学 スポーツ指導論
兼任	講師	成田 厚子 (40) <平成30年4月>
		スポーツ栄養学
兼任	講師	紫垣 聡 (39) <平成31年4月>
		西洋史概説B
兼任	講師	梶原 寿謙 (37) <平成30年4月>
		マーケティング論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	門浦 智 (41) <平成30年4月>
		TF (Tezukayama Family) 講座
兼任	講師	小柴 昌也 (41) <平成30年4月>
		兼任 講師 TF (Tezukayama Family) 講座 民法
兼任	講師	関岡 有季 (41) <平成30年4月>
		スポーツ科学A スポーツ科学B スポーツ心理学
兼任	講師	田原 悟志 (36) <平成30年4月>
		兼任 講師 スポーツ指導論
兼任	講師	成田 厚子 (41) <平成30年4月>
		スポーツ栄養学
兼任	講師	紫垣 聡 (40) <平成31年4月>
		西洋史概説B
兼任	講師	梶原 寿謙 (38) <平成30年4月>
		マーケティング論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	衣川 竜也 (38) <平成30年4月>
		TF (Tezukayama Family) 講座
兼任	講師	安田 良子 (33) <平成30年4月>
		スポーツトレーニング論
兼任	講師	西尾 陽平 (28) <平成30年4月>
		特殊講義 (アドバンスプログラムA) 特殊講義 (アドバンスプログラムB) 特殊講義 (アドバンスプログラムC)
兼任	講師	尾崎 卓 (29) <平成30年4月>
		科学E (行動科学)
兼任	講師	松尾 浩希 (28) <平成30年4月>
		スポーツ医学 スポーツマネジメント

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	衣川 竜也 (39) <平成30年4月>
		TF (Tezukayama Family) 講座
兼任	講師	青木 拓巳 (28) <平成30年4月>
		スポーツトレーニング論
兼任	講師	西尾 陽平 (29) <平成30年4月>
		特殊講義 (アドバンスプログラムA) 特殊講義 (アドバンスプログラムB) 特殊講義 (アドバンスプログラムC)
兼任	講師	法 弁 (27) <平成30年4月>
		科学E (行動科学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	福本 貴彦 (44) <平成30年4月> スポーツ医学
兼任	講師	上嵩 真弓 (53) <平成30年4月> 日本事情C 日本事情D
兼任	講師	大橋 純子 (54) <平成30年4月> 英語C 英語D
兼任	講師	菊川 和彦 (65) <平成30年4月> 英語A 英語D
兼任	講師	笹川 恵典子 (67) <平成30年4月> 日本語理解(基礎)C 日本語理解(基礎)D 日本語理解(基礎)F
兼任	講師	周 裕勲 (50) <平成30年4月> ハンゲルI
兼任	講師	末廣 万里子 (34) <平成30年4月> 日本語理解(基礎)C 日本語理解(基礎)D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
					天満 理恵 (48) <平成30年4月>
			兼任	講師	日本語理解(基礎)A 日本語理解(基礎)B 日本語表現
					樋口 昌敏 (50) <平成30年4月>
			兼任	講師	中国語I
					門口 弘枝 (41) <平成30年4月>
			兼任	講師	英語B
					祐田 直子 (44) <平成30年4月>
			兼任	講師	英語B
					吉岡 みのり (65) <平成30年4月>
			兼任	講師	英語D
					吉田 和男 (70) <平成30年4月>
			兼任	講師	大学英語入門 英語B
					松岡 誠 (67) <平成30年4月>
			兼任	講師	スポーツ科学A スポーツ科学B

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名

平成29年度の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・入学者数に応じてクラス数を調整し、担当者を変更し追加 ・担当予定兼任教員辞退のため、担当者を変更し追加 ・川岸岳人准教授辞退（退職）のため、担当者の職名の変更及び担当者を変更し追加

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
15	8
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
10	8	1	0	19	11	6	1	0	18	11	6	1	0	18
[10]	[8]	[1]	[0]	[19]						[1]	[Δ2]	[]	[]	[]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告書提出時）の完成年度時の計画**」には、「**現在（報告書提出時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）。および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C) = $\frac{18}{19} = 94.73$ %

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = $\frac{0}{18} = 0$ %

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	准教授	川岸 岳人	必修	基礎演習Ⅰ	①	自己都合のため辞任（30）							
			必修	経済学概論	②								
			選択	マクロ経済学入門	①								
			選択	専門導入演習	②								
			選択	マクロ経済学A	②								
			選択	マクロ経済学B	②								
			選択	演習Ⅰ	②								
			必修	演習Ⅱ	②								
		選択	演習Ⅲ	②									
合計（F）			後任補充状況の集計（G）										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	3	科目	必修	1	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	1	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	2	科目	計	7	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
		該当なし											
合計（F）			後任補充状況の集計（G）										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修		科目	必修		科目	必修		科目	必修		科目
		選択		科目	選択		科目	選択		科目	選択		科目
		自由		科目	自由		科目	自由		科目	自由		科目
		計		科目	計		科目	計		科目	計		科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）			後任補充状況の集計（E）+（G）										
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	3	科目	必修	1	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	1	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	2	科目	計	7	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)\text{合計}(D)+(F)}{(2)-(2)\text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{19} = \boxed{5.26} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職の申し出の時期が開講直前であったこともあり、同一の教員が兼任教員として科目を担当し、実質的には学生の履修に不利益が生じないように対応した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年4月)	・帝塚山大学文学部日本文化 学科の定員充足率の平 均が0.7倍未満となってい ることから、学生確保 に努めるとともに、入学定員 の見直しについて検討 すること。 留意事項	平成30年度入学者から、該当 学部学科の教育課程の全面的 な見直しを行い、独創的で魅 力的な学部へと転換を図っ た。その結果、平成30年度は 入学定員を上回る入学者が確 保でき、定員充足率の平均も 0.83まで回復した。(30)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・大学設置基準に抵触 するため、改めるこ と。(△△学部△△学 科) 是正意見		未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。 改善意見		未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。 改善意見		未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。 改善意見		履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。 改善意見		未履行

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の
寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等
について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を
全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入して
ください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<経済経営学部 経済経営学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
変更無し	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学における全学的な教育施策の企画及び開発、教育活動の継続的な整備・改善の推進及び支援、並びにFD推進の企画及び大学教育の充実と発展に寄与することを目的として「全学教育開発センター」を設置し、関係する議案を審議するため、「全学教育開発センター運営委員会」を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>センター長の他、学部から選出された教員（各学科1名）、事務職員（3名）により、年間12回の会議を実施した（平成29年度実績）。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>教員の資質の維持向上の方策については、授業改善アンケート、公開授業、公開授業週間、学生ヒアリング、FDフォーラム等の教員の資質の維持向上に係る案件を審議している。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善アンケートの実施（前期、後期） ・ 公開授業の実施（前期） ・ 公開授業週間の実施（後期） ・ 学生ヒアリングの実施 ・ FDフォーラムの開催（年2回） ・ 外部のFD関係研修会への参加 <p>b 実施方法</p> <p>授業改善アンケートは、実施期間を決め、授業担当教員の最も履修者数の多い科目について実施し、教学支援課（学部事務共通）がその結果を取りまとめ、各教員にフィードバックした。学生ヒアリングは前・後期の授業改善アンケート実施後に行い、授業改善アンケートだけでなく、学部の教育環境について意見を聴取した。FDフォーラムは、本学が取り組みたいと考えている課題に向けて、学内外の識者を講師として招き、講演やグループワーク等の形式で実施している。</p>
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

前期の公開授業は、各学部で2回の公開授業を実施（6月、7月）し、教授会の報告をもって検討会を行った。後期の公開授業は全専任教員が原則全科目を公開し、1科目以上を参観し、授業終了後公開した教員と参観した教員とで意見交換（口頭あるいはシートベース）を実施した。

授業改善アンケートは、前期6月、後期11月の年間2回、原則として専任・非常勤を問わず、1人1科目実施した。

F Dフォーラムは年2回（9月、3月）実施し、平成29年度は「ティーチングポートフォリオの考え方と作り方」と「学生の能動的授業参加を促すには？～私の実践例～」について本学教員と学外の大学教員にそれぞれ講演いただいた。参加者はそれぞれ71人、58人であった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業改善アンケートの結果を踏まえ、授業改善に活かすことができるように、各授業担当者から意見聴取を継続して行った。教員からの授業改善部分については、昨年度に引き続き、学内サーバーで学生及び教職員に公開した。さらに、授業改善を促すために、昨年度に引き続き、本学の教員が授業で工夫している点をまとめた

「ティーチング・ティップス集」を配付。公開授業の終了後に参加教員による授業検討会や意見交換を実施し、それぞれの授業に取り入れてもらうように依頼した。

年度のまとめとして「F D報告集」の冊子を刊行し、教職員に配付し情報を共有する（平成30年3月刊行）。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施している。

平成29年度実施時期＝前期：5月29日（月）～6月3日（土）、後期：11月6日（月）～11月11日（土）

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業改善アンケート（前・後期）実施後に教員から提出された「結果を踏まえた授業改善方法」を学内サーバーで原文のまま教職員及び学生に公開した。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経済経営学部経済経営学科では、「経済を理解した経営」と「経営を考えた経済」という視点を持ち、現実社会で「答えのない問題」を発見し解決することができる人材が今後ますます求められるという認識のもと、「幅広い教養と経済学及び経営学の専門的知識・技能を身に付け、国際的視野に立って地域社会を理解し、その発展に積極的に貢献できる人材を養成する」ことを目的としている。したがって、本学部本学科では、経済学分野と経営学分野のさまざまな知識と技能を学ぶ科目、その知識や技能をを実際の社会で活用する能力を修得する科目、ビジネスの共通言語としてのIT・簿記・外国語を学ぶ科目、キャリア形成を見据え理論と実践の両面に配慮した科目等を開講し、以下の教育方法、履修指導方法、卒業要件に基づき、人材養成目的に沿った有為な人材を育成する。

本学部開講科目は、主に講義と演習の2つの授業形態から構成され、これらを適切に組み合わせることで、経済学と経営学の専門知識だけでなく、その活用と実践的スキルを身につけることができる。本学科で開講する講義と演習科目では、産官学連携によるプロジェクト型学習やアクティブ・ラーニングの要素を積極的に取り入れた授業を通して、学生が主体的に問題を発見・分析・解決する能力や行動・表現・協働する力を身につけることができる。また、本学科では、教育効果を高めるために、可能な限り少人数クラスで授業を運営する。

1年次に履修する「専門科目」の「I群・専門基礎科目」における必修科目（「経済学概論」と「経営学概論」、「ミクロ経済学入門」、「マクロ経済学入門」、「簿記入門A」）では、複数クラスの開講により少人数編成とすることで目の行き届いた基礎教育を実践し、2年次以降のより専門性の高い科目履修のための土台作りを行う。これらの科目履修を前提として、2年次以降は将来の進路・就職を見据えた『5つのプログラム』に対応した履修モデルに沿って、「専門科目」の「II群・経済科目群」及び「II群・経営科目群」に設置される科目を基礎から応用科目へと順次バランスよく履修し、さらに各自のプログラムや大学入学までの学修状況に応じてそれぞれにとって必要となる科目を「専門科目」の「I群・専門基礎関連科目」と「II群・共通科目群」から選択して履修するよう指導することで、幅広い専門知識を体系的に身につける。

このほか、履修ガイダンス時には、「カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）」の説明を行うとともに、履修ガイダンスにおいて5つのプログラムに準じた履修モデル等を掲載した「履修要項」を用い、教育課程を丁寧に説明した。また、学部の全教員と上級生が参加する「体験セミナー『キャンパスライフの第一歩』」を実施し、様々なグループワークやゲームに取り組みながら、大学で学ぶ意義や目的を確認し、友人を作り、上級生や教員との信頼関係を構築した。これらの取り組みの成果もあり、授業開講後1ヶ月間の新入生出席状況調査においては、授業欠席する学生はほぼ見られず大変良好で、いずれの学生も順調な大学生活のスタートを切ったといえる。

総じて、当初計画を実行して、教育活動に当たっている現状であり、今後も、教育方法・運営方法について検証のうえ、さらに改善・工夫を加えていくことを予定している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・現時点において、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書は未作成である。
本学の定める刊行時期にあわせて作成、公表する（平成30年度末予定）。

b 公表方法

- ・最新版の自己点検・評価報告書（平成28年度版）については、大学ホームページ上に公開済。
- ・当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書については、平成30年度末に同様の方法で公表予定。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に認証評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審し、「適合」との評価結果を得た。
- ・次回、2021年度に認証評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中。

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年5月31日)

- (注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。